

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 特別養護老人ホーム ほの里 南林間	階数	地上3F
建設地	神奈川県大和市南林間6丁目3577番1	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、法第22条区域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年10月6日
敷地面積	5,614 m <sup>2</sup>	作成者	(株)アップルズ総合計画
建築面積	2,083 m <sup>2</sup>	確認日	2017年10月7日
延床面積	4,533 m <sup>2</sup>	確認者	(株)アップルズ総合計画



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>室内環境、サービス性能を充実させている。</li> <li>緑地、中庭、屋上庭園、自主管理公園の設置にも取り組んでいる。</li> <li>建物の省エネ化に努めている。</li> </ul>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊部、昼光率、昼光制御、自然換気性能への配慮。</li> <li>F☆☆☆☆を採用し、空気質環境への配慮。</li> </ul>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>個室の広さ感に配慮。・耐用年数の長い、部品部材を採用している。・給排水衛生設備の充実化に努めている。・共用部は高い壁長さ比率を確保している。</li> </ul>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑地、中庭、屋上庭園、自主管理公園の設置等、敷地内環境への取組みを行っている。</li> </ul>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>硬質ウレタンフォーム等、高性能断熱材の採用に努めている。</li> <li>LED照明の採用等、設備システムの効率化に努めている。</li> </ul>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>節水型器具の採用に努めている。</li> <li>雑排水利用を行っている。</li> <li>リサイクル材を活用している。</li> <li>防水工事はプライマーを採用し、化学物質の使用削減に努めている。</li> </ul>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ性能に配慮、地球温暖化防止に努めている。</li> <li>雨水排水負荷の低減に努めている。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される